

LightPix AE10(Ver1.1)

簡易操作マニュアル

－ エッジ検出 －



平成 16 年 3 月

松下電工株式会社
制御デバイス事業部

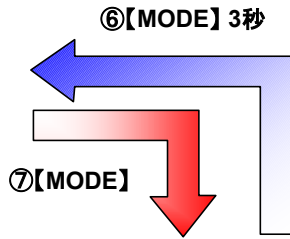
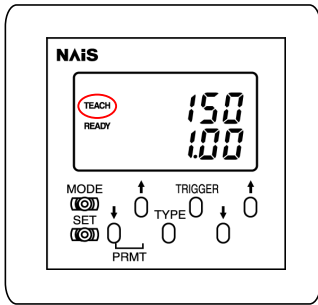


このマニュアルは、Adobe Acrobat を使って制作されています。
Adobe、Adobeロゴ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated
(アドビシステムズ社) の商標です。

簡易マニュアル
— エッジ検出 —

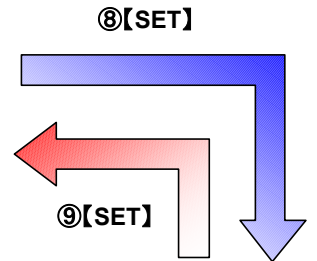
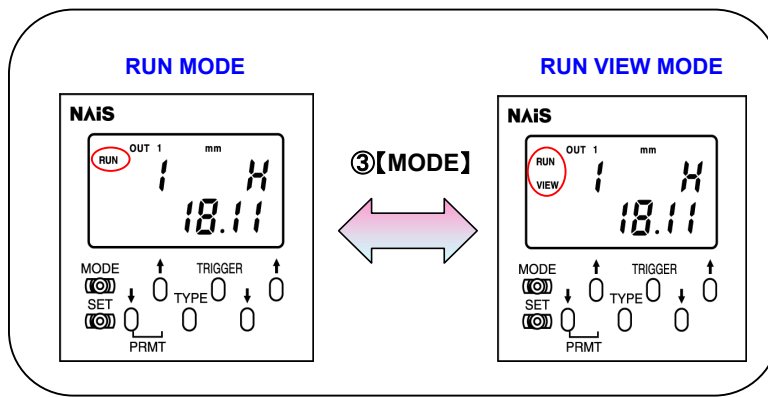
【ANE10*1】

⚡ ティーチングMODE

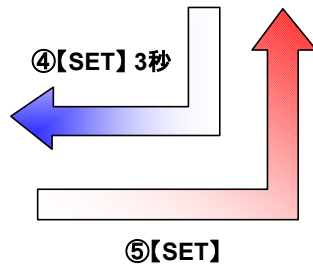
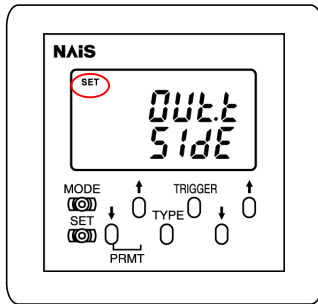


- ①セッティング
- ②電源投入

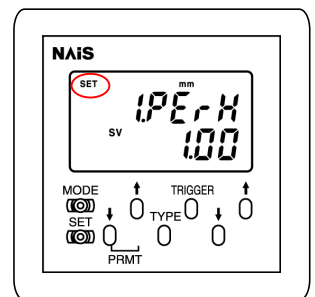
⚡ 検査MODE



⚡ 機器設定MODE



⚡ 判定基準設定MODE



①～⑨はエッジ検出の設定手順

【 機器設定モード 】 ANE10*1

電源 ON



<2>を3秒間押す

工場出荷時の設定

NAIS

MODE: 0 TRIGGER: 0 PRMT: 0

SET ISEtt
CRnCL

SET SAVE
CRnCL

SET bLPt_n
On

SET LDnOF
On

SET RSAVE
On

SET St.n_o
1

SET bAUdr
9.6

SET OUT.d
0

SET CAP.d
0

SET bUFF
0

SET Itrr
On

SET in It
1

SET SPEEd
h

SET OUT.t
SIDE

SET rS485
CrL

SET AbRCY
On

SET vEr
1.00.1

<7> <8> ISEtt ISEtt

<7> <8> SAVE SAVE

<7> <8> bLPt_n bLPt_n OFF60 bLPt_n OFF30 bLPt_n OFF10

<7> <8> LDnOF LDnOF OFF

<7> <8> RSAVE RSAVE OFF

<7> <8> St.n_o St.n_o 31 St.n_o 30 St.n_o 2

<7> <8> bAUdr bAUdr 57.6 bAUdr 38.4 bAUdr 19.2 bAUdr 14.4

<7> <8> OUT.d OUT.d 160 OUT.d 140 OUT.d 20

<7> <8> CAP.d CAP.d 160 CAP.d 159 CAP.d 1

<7> <8> bUFF bUFF 31 bUFF 30 bUFF 1

<7> <8> Itrr Itrr OFF

<7> <8> in It in It 7 in It 6 in It 2

<7> <8> SPEEd SPEEd n SPEEd l

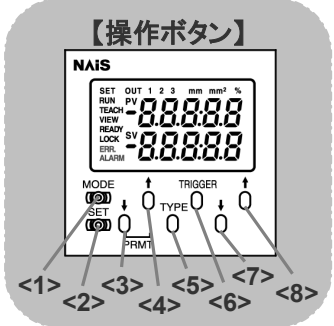
*1 OUT.tでAPEX選択時は
SPEEDの設定は
出来ず、この内容
が表示されます。

<7> <8> OUT.t OUT.t APEX

<7> <8> rS485 rS485 XOR

<7> <8> AbRCY AbRCY OFF

*2 vEr vEr 10.8 vEr 100.54 vEr 100.00



変更内容の確認

- 工場出荷...<7> <8>で設定変更
- 手動保存 <6>を3秒間押す
→ Done表示でれば完了
{表示後cancel表示に戻る}
- その他機能...<7> <8>で設定変更

表示：(選択肢) 【機能】 詳細説明
I.SETT：(CANCEL/SET) 【工場出荷：initial setting】 設定の初期化
SAVE：(CANCEL/SAVE) 【手動保存：save】 現在の設定を保存
B.L.PTN：(ON/OFF10/OFF30/OFF60) 【バックライト点灯パターン：backlight pattern】 ファインダーバックライトOFFタイマ機能
L.ON.OF：(ON/OFF) 【照明ON/OFF切替：LED on/off】 内蔵のLED照明使用の選択
A.SAVE：(ON/OFF) 【自動保存：auto save】 設定内容の自動保存の設定
ST.NO：(1/2/3/4/.../31) 【機器No：station number】 RS485通信時の機器No.(局番)
BAUD.R：(9.6/14.4/19.2/38.4/57.6kbps) 【通信速度：baud rate】 RS485通信の通信速度
OUT.D：(0/20/40/.../160ms) 【出力ディレイ：output delay】 出力遅延時間の設定
CAP.D：(0/1/2/.../160ms) 【撮込ディレイ：capturing delay】 入力遅延時間の設定
BUFF：(0/1/2/.../31) 【バッファリングディレイ：buffering】 設定トリガ信号回数分遅延して、演算結果を出力する機能
I.TRR：(ON/OFF) 【内部トリガ：internal trigger】 (ON) 自動繰り返し検査 (OFF) トリガ毎の検査実行
INI.T：(1/2/3/4/5/6/7) 【初期品種No：initial type】 電源起動時に選択される品種No
SPEED：(High/Mid/Low) 【検査時間：speed】 演算時間の選択 High:高速、低分解能⇔Low:低速、高分解能
OUT.T：(SIDE/APEX) 【検査方式：output type】 エッジ検出(SIDE)/頂点検出(APEX)
RS485：(CRC/XOR) 【RS485】 エラーチェック方式の選択
A.BACK：(ON/OFF) 【アンサーバックON/OFF切替：answer back】 ファインダーでの判定結果の表示 (エッジ位置/頂点位置の検出箇所を表示)
VER ※ 【バージョン表示：version】 バージョン、視野サイズの表示

<Ver.表示内容>

1.10:01：メインユニットVer.
10.8：視野(*1参照)
1.00:SY：システムのVer.
1.00:OP：操作ユニットのVer.

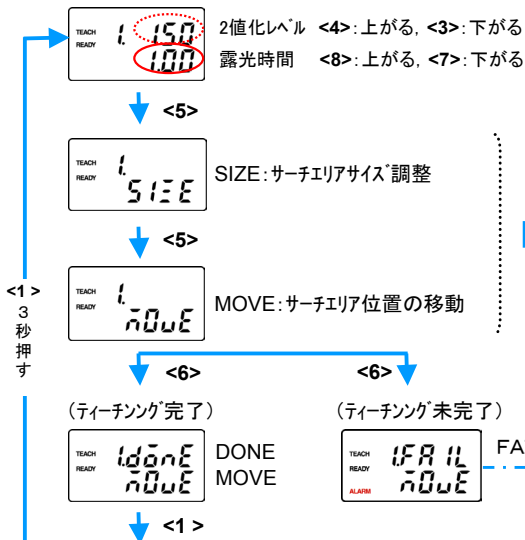
***2:機種により表示が変更**

ANE1011	10.8
ANE1021	25.20
ANE1031	50.40
ANE1041	100.80

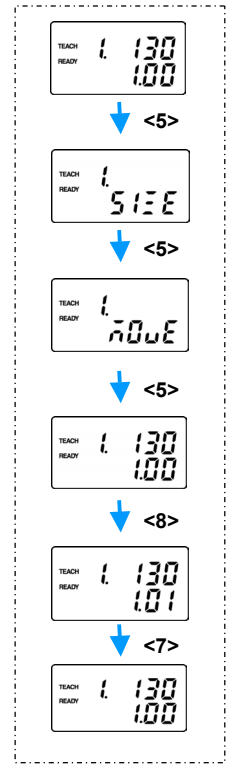
エッジ検出 (Ver.1.1)

【ANE10*1】

【ティーチングモード】



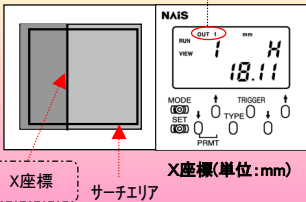
設定詳細については
P4(サーチエリア・ティーチング
のサイズ, 位置設定)参照



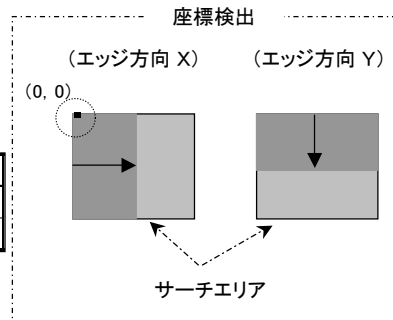
露光時間・2値化レベル
設定完了

検査モード……<1>
サーチエリアの
サイズ, 位置変更……<5>

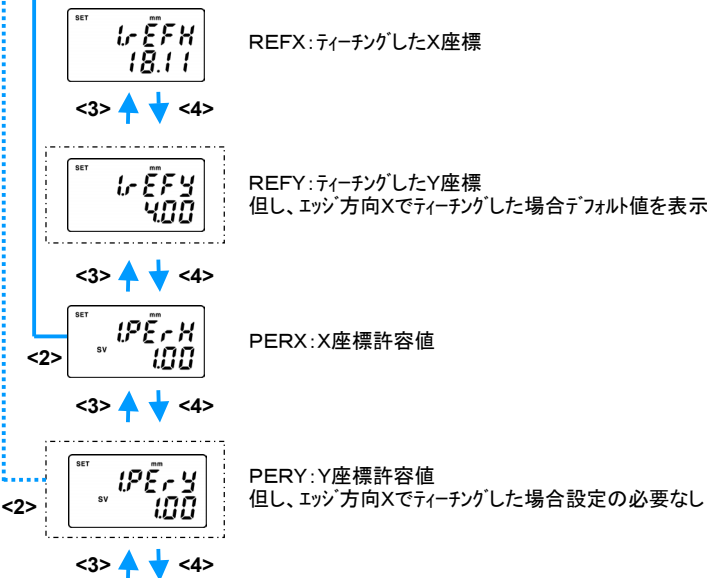
【検査モード】



出力結果	
OUT1 ON	OK(X,Y座標許容範囲内)
OFF	NG(X,Y座標許容範囲外)



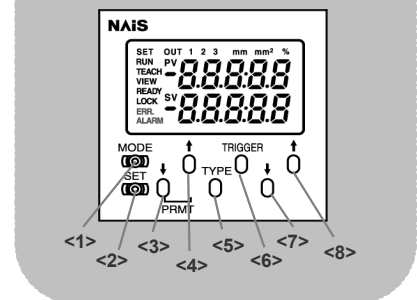
【判定基準設定モード】



以下品種2~7も同様

<8>: 上がる
<7>: 下がる

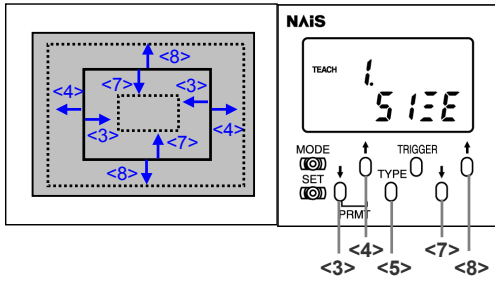
【操作ボタン】



サーチエリア・ティーチングの
サイズ, 位置設定

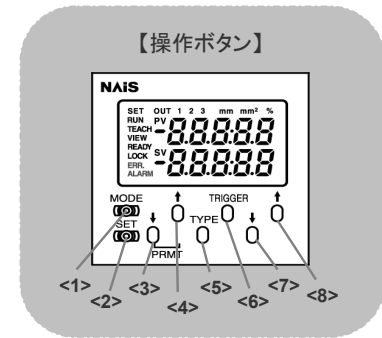
【ANE10*1】

【サーチエリアのサイズ調整: SIZE】

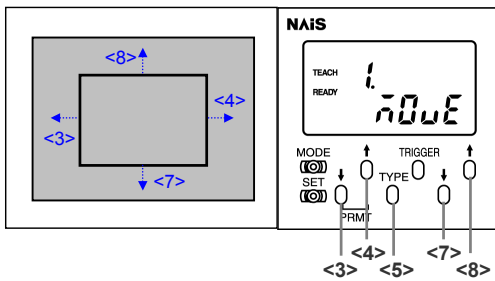


: SIZE

- <3>を1回押す毎にX幅縮小
- <4>を1回押す毎にX幅拡大
- <7>を1回押す毎にY幅縮小
- <8>を1回押す毎にY幅拡大



【サーチエリアの位置を移動: MOVE】



: MOVE

- <3>を1回押す毎に左へ移動
- <4>を1回押す毎に右へ移動
- <7>を1回押す毎に下へ移動
- <8>を1回押す毎に上へ移動